

あせらず、ゆっくす待し。

大阪教育サークルはやし 宮本哲

「3・7・30」

〈3〉

出会いからの三日間は、この先生とならうまくやっていけそうだ、このクラスの人たちとなら楽しい一年間を過ごせそうだ、など、担任や学級への期待感を高める期間と考えている。だから基本的には、強く叱るようなことをしないようにしている。

〈7〉

一週間で学級内での約束や仕組みを伝え指導していく。この時になぜ、この約束があるのか、何のための仕組みなのかを丁寧に説明しながら、できるように指導していく。指導する内容としては子どもたちの一日の生活の流れを考えるとよい。

(例)

- ・上靴の入れ方・・・かかとを揃えて直す。
- ・朝の準備・・・宿題や提出物を指定の場所に出す。教科書を机の中に入れるとき、すぐ取り出せるように時間割の順番で直す。(終わった教科からロッカーに直していく。)

朝の会の進め方・・・日直が朝の会を進めていく。

- ・学習の準備・・・次の授業の準備をしておく。その時、日付、ページ数を書いておく。

- ・学習の仕方・・・はじめと終わりのあいさつの仕方。

ノートのとりかた。

挙手の仕方。

話の聞き方。

話し方。など

- ・移動教室の仕方・・・二列で右側通行。

静かに移動する。

授業開始のチャイムで始められるように移動する。

給食・・・準備の仕方。

食べ方。

- ・給食・・・準備の仕方。

あと片付けの仕方。など

- ・掃除・・・道具の使い方。

それぞれの場所に合った掃除の仕方。など

- ・終わりの会の進め方・・・日直が終わりの会を進めていく。

このようなことを指導し、できるようにさせていく。

〈30〉

一週間で学級のシステムを指導したが、それで終わりではない。一ヶ月で徹底するのである。

掃除当番や給食当番などは、班やグループで交代しながらしていくことが多い。新しい班やグループに替わればやはりもう一

度指導していかなければならない。

その他のことについてもしつかりと定着するように何度も繰り返し指導を徹底するのが一ヶ月の役割である。

繰り返し指導するときに心がけることは、誉めることである。

叱ったときは、一時的にするかもしれないが、自主的に動くようにはならない。

指導↓評価(誉める) 指導↓評価(誉める)の繰り返しで子どもたちの自主的な行動を育てたい。指導してできるようになった行動をたくさん見つけてあげ、誉めることを心がけることが大切だ。

大体、五月の大型連休を一つの目安にして学級の仕組みを作っていく。ここを安定させておくことが自立した集団を作っていくのに必要なのである。

## 〈90〉

今までの取り組みは、植物で例えるならば、種をまき、発芽し、少し大きくなったぐらいである。この時、水や肥料を与えたり、病気にならないように気を付けてやらなければならない。(学級であるならば、た

くさん誉めたあげること)そしてきれいな花を咲かせ、大きな実をつける(自立した学級集団)のはまだ先の事である。

六月は、三〇日間で定着させてきたことを少しずつレベルアップさせる時期だと考えている。

この時期になると、隣のクラスと自分のクラスの子どもの様子から差を感じることがある。

ここで無理やり大きな花を咲かそうとすると、子どもたちとの関係がずれ、後に学級崩壊になりかねない。隣の学級と比べても仕方がない。昔から「魔の六月」と言われているが、ここではあせらないことが大切である。

後半の一〇〇日で大きな花(自立した学級集団)を咲かせるために待つことを心がけたい。待つということとは、子どもたちが三〇日間で定着したことにプラスワンの言動ができるようになり、自分から伸びていくようにすることを促していることである。

### (例)

・上靴の入れ方・・・かかとを揃えて直す。

↓友だちの靴が乱れていたら直す。

↓クラスの人の靴を直す。

↓学年の人の靴を直す。

↓全校児童の靴を直す。

このようにレベルを上げていく。この時の教師の働きかけが大切になってくる。基本は子どもたちのちよつとした良い行動を見つけ、その行動を誉めてあげ、強化してやることである。

上靴の入れ方であれば、できている子を誉める。これで少しずつできる子が増えていく。そして、できるようになった子も誉める。さらにできるようになっていく。これを毎日続ける。朝に誉める。子どもたちも朝、誉め言葉から始まるので気分がいい。大体、八割の子ができるようになったとき、その写真を撮り、子どもたちに見せる。そこで気づいたことを交流する。次に学年の上靴の写真を見せる。そして気づいたことを交流する。ここまですると学年の上靴は当然直して、全校児童の上靴を揃える子が出てくる。自分から考えた行動は今まで以上に誉める。(校長にお願いして児童集会でさりげなく話してもらおうのもいい。)